

注記事項

1 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産の減価償却の方法

- ・定額法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

②無形固定資産（ソフトウェア）の減価償却の方法

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

(3) 引当金の計上基準

①退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末において発生していると認められる額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

2 貸借対照表に関する注記

(1) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 1, 832, 075千円

(3) 取得価額から直接減額している圧縮記帳額

建物	200, 477千円
建物附属設備	309, 153千円
構築物	3, 474千円
工具器具備品	244, 398千円

3 損益計算書に関する注記

(1) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

4 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数

普通株式 53,700株

期末に保有する自己株式はありません。

5 一株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 36,089円67銭

(2) 1株当たり当期純利益 162円09銭